

シルバーさんむ

第26号

平成3年1月

HPのURL



公益社団法人
山武市シルバー人材センター
〒289-1523山武市松尾町五反田3012
☎0479-86-6616 Fax0479-80-8280
HP <http://webc.sjc.ne.jp/sambu/>
E-mail sammu@sjc.ne.jp



山武地区(10月6日)山武福祉作業所
山武福祉センター・睦岡学童クラブ



蓮沼地区(10月13日)
蓮沼交流センター



成東地区(10月16日)
成東総合運動公園・白幡スポーツ広場



松尾地区(10月27日)
松尾中学校

ボランティア活動

毎年、地域社会への貢献活動の一環として、各地区に分かれ、剪定、草刈り草取り等の清掃作業を行っています。今年度はコロナ禍のなか、三密に気を付け作業をしました。

| | | | | | | | |
|------|-------|------|----|------|-------|-------|-------------|
| 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | ☆ |
| 頁 | 頁 | 頁 | 頁 | 頁 | 頁 | 頁 | 頁 |
| 編集後記 | 各委員紹介 | お知らせ | 文芸 | 趣味紹介 | 会員ひろば | 入会者紹介 | 独自事業活動 |
| | | | | | | | サポーター派遣事業 |
| | | | | | | | 多胎妊娠婦 |
| | | | | | | | きらきらシルバーフェア |
| | | | | | | | 交通安全講習会 |
| | | | | | | | ボランティア活動 |
| | | | | | | | 新年のご挨拶 |
| | | | | | | | もくじ ☆ |

明けまして

おめでどうございます



会長 藤田 進久

令和三年の新たな幕開けでございます。昨年は、新型コロナウイルスの襲来という予想だにしない年となりました。しかし、皆様方におかれましては、つつがなく新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

年度当初の事業実績は前年を下回りましたが、その後新たな事業への着手等から明るい兆しを見せ、現在では昨年とほぼ同様までに回復してまいりました。

コロナ禍の現在、家に閉じこもっている高齢者も多いと聞いています。会員の皆様は、元気に就業に励んでいただき、その結果がこのような実績に繋がったものと、敬意を表するものであります。これは、皆様の就業に対する責任感の強さであり、健康上においても大変有意義なことと感じております。

さて、今年の干支は辛丑（かのと・うし）です。牛のように、一步一步着実に歩んでいけば明るい明日が見えてくるのではないでしようか。

昨年は、残念ながら多くの事業が中止となり、人とのつながりが少なく、寂しく感じた方も多かったのではないでしようか。今年の「新春芸能大会」は、感染対策をしっかりと行い、予定どおり開催いたしますので、お仲

間をお誘いあわせの上楽しんでいただきたいと思っております。

山武市シルバーは、四百三十名を超える会員が在席しています。安全は何より大切であり、就業の行き帰りから注意をし、就業前には周囲の安全を確認する余裕を持たれますようお願いいたします。

会員の皆様のご多幸をご祈念いたしますと共に、山武市シルバー発展のため、役職員が一丸となり努力いたしますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。



明けましておめでどうございます



山武市長 松下 浩明

山武市シルバー人材センター会員の皆様をはじめ、関係者の皆様におかれましては、穏やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年中は市政全般に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、年の始めから新型コロナウイルス感染症が全国に拡大し、緊急事態宣言が発出されるなど、それまでの生活

様式が一変いたしました。日常生活や仕事の場面においてご不便があったと思いますが、一日も早い収束を願うところであります。

人口減少・少子高齢化が進む中、地域の活性化のためにも、元気で意欲あふれる高齢者の方々が活躍いただくことが重要だと思っております。シルバー人材センターは、まさにその役割を担い、高齢者の活躍の場の確保に他、ボランティアにも積極的に取り組んでいただいておりますことに感謝申し上げます。市といたしましては、地域の守り役である高齢者の皆様の活動と活躍の場の創出に取り組んでまいります。

会員の皆様におかれましては、豊富な経験と確かな技術を活かしながら、生涯現役で活躍され、次の世代にその知識や技術を伝えていただくことを期待しております。

迎えました新しい年も、山武市がますます活気に満ちる一年となりますよう、取り組んでまいりますので、より一層のご理解とお力添えをお願い申し上げます。

結びに、山武市シルバー人材センターの益々のご発展と、会員皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。



ボランティア活動

ボランティア活動は、例年六月に行っていました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため十月に延期とし、各四地区で合計で八十二名が参加し実施しました。

この活動は、市民の方にシルバーを知って頂く普及宣伝活動も兼ねていますが、自分たちの地域をきれいにすることが目的です。会員皆さんの、地域社会への貢献活動の心が、今回のコロナ禍でも実施できました。成東地区は昨年にも続いて雨天延期となったため、当初より参加者が減ってしまいましたが、みなさん手慣れたもので、作業を分担してきれいにしました。

松尾中学校では、植え込みに入り、セイダカアワダチソウと苦戦しながらの作業でした。あと少しのところ、生徒の英語のリスニングテストが始まったため、機械の使用が中止に（窓を開けて換気しているの）になってしまいました。残念：

コロナ禍の影響で、会員が集まれる事業が少ない中、久しぶりに顔を合わせる会員さん達で、会話も弾んでいる様子でした。次回もぜひご協力をお願いします。



作業前のラジオ体操



不法投棄パトロール就業会員

交通安全講習会開催

十月二十四日、成東中央公民館において不法投棄パトロール就業会員対象の交通安全講習会を開催しました。

今年度、初めての試みとして、土曜日に開催し、三地区合同で会員が集合しました。初めに局長から不法投棄パトロール就業の内訳の説明があり、続いて、山武警察署花田講師から、高齢者の交通安全についての講話がありました。



夜間は、相手から自分の存在が分かるように、反射材の携帯をすること、判断機能の低下を補助するために車を購入するときは、サポートカーを検討するように、との話がありました。



白井市シルバー人材センター来訪

十月二十九日、白井市シルバー人材センター事務局長及び理事の方々が訪問されました。同センターは女性部会の新設を考えており、当センター女性部会の大野委員長、秋葉副委員長、藤崎前委員長、布留川理事、すみれサークルから渡辺リーダーが出席し、女性部会の活動内容や女性会員の働き方について、活発な意見交換ができました。



藤田会長が新任会長研修事例発表

十月二十二日、東京都千代田区で開催された全国シルバー人材センター事業協会主催の新任理事長（会長）研修に、藤田会長が当センター事業の事例発表を行いました。

小規模センターの会長としての取り組みや特色を発表しました。

会員の皆さんの笑顔、発注者の感謝の気持ちを感じ、これからも会長として取り組んでいきたい、とおわりに述べました。



【きらきらシルバーフェア作品展示会】

広報委員 塚野 博昌

今年度はコロナ禍により様々な催物が中止となりましたが、三密を避ける対策を講じて、十月二十一日〜二十四日、成東中央公民館のロビー及び会議室においてシルバーフェアが開催されました。

受付では、マスク着用、体温及び手消毒のチェック、さらにコロナ感染対策として緊急連絡先の記入の依頼、そして入場者数を制限する等三密対策をして開催しました。

受付を済ますとアロマワックスバリのプレゼントがありました。火を使わない香るキャンドルとのことで、アロマセラピーの効果が、置いておくだけで良い香りがするものです。色んな形と色のバリエーションな花等を載せてあり、皆さんに一人一個のプレゼントで、どれもすばらしくて選ぶのにだまされておりました。このバーを作成した方はセンターの職員の女性で、ご自宅で百五十個も作られたそうです。

会場は写真の部、絵画の部、書道・文芸の部、園芸（盆栽）の部がロビーで、手工芸の部が会議室でと、コーナーごとにそれぞれ離れて展示していました。

出品作は何れも力作、大作で、皆さんの趣味の多さに驚かされました。プロ級のものばかりで、私の無趣味を恥じ入ってしまいました。



た。趣味を持つことが若さを保つ秘訣かな？と感じました。今回はコロナ禍で出品者の説明や作品に触れることを遠慮していただいていたのですが、それでも来場の方々は作品を見て感嘆しておられました。

他にも、作業の安全コーナーや、いきいきクラブ、すみれサークル、ボランティア、センターの事業紹介の各コーナーを設けており来場者の方はこんな事もシルバーセンターでやっているんだと感心されていました。

このコロナ禍で、来場者は少ないのでは？と思っていました。昨年より四十一人多い二百二十八人の方々にお願いいただきました。今回は、これまでに無かったコロナ対策を講じてのフェアとなり、出品者の方々、会場準備のボランティアの方々、及びスタッフの方々には大変なご苦労があったと思います。

お疲れ様でした。おかげで盛況の内に終えることができました。皆様これからも、更にご自愛いただき、次回もお元気で力作・大作の出品をお願いいたします。期待致しております。



作品展示会より



山武市多胎妊産婦サポーター

派遣事業開始

令和二年十月から「多胎妊産婦サポーター派遣事業」が始まりました。この事業は、双子・三つ子の多胎児を妊娠又は育てる家庭の身体的、精神的負担の軽減を図り、安心して生み育てることのできる環境づくりを目的として、国や市がサポートをする事業です。



以前より「ママ家事サポート」の育児支援で何件かの実績があることを受けて、市から要請がありました。就業希望会員十二名の方が派遣前の研修に参加しました。

研修は、十月二十八・二十九日の二日間に分かれて行い、健康支援課浅野課長より協力のお礼の言葉を頂き、参加者の自己紹介です。そこでは、自分が双子、子どもが双子、孫が双子とそれぞれの経験者がいて、とても心強いサポートです。

講演は、匝瑳市の助産師的井場先生から、「多胎児育児の大変さを知って、ママの応援団になろう！」をテーマに、サポート時のポイントや赤ちゃんの人形を使って抱き方や沐浴、調乳、寝な



がらのミルクのあげ方（授乳クッションを使って）など、多胎児ならではの方法の説明を受けました。最後に栄養士さんから、おやつや離乳食の現在の様子を紹介されました。参加者の会員さんは、始めは自分が体力的に赤ちゃんのお世話ができるのか不安でしたが、講習を受けて私たちはご家族が育児に専念できるようにサポートをすること、ママに寄り添い話し相手が必要だということが分かり、自分達がお役に立てるならということになりました。



独自事業 「いきいきクラブ」

今年は秋の長雨の影響か、落花生の実が生長不足で販売することができませんでした。作物作りは天候に左右されることを、改めて実感しました。



サツマイモは、昨年より苗の数を増やし、紅あずまと紅はるかを五月に苗植えをしました。こちらは順調に生長し、九月末から少しずつ収穫をして事務局窓口で販売をしました。毎年楽しみにしてくれている市民の方や、会員さんからの注文もあり、袋詰めするとあっという間に売り切れてしまう日もありました。

いきいきクラブで活動をする会員さんは、自分の就業の日程を調整して参加されています。美味しいお芋ありがとうございました。



独自事業 「すみれサークル」



現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、時間を短縮してマスク着用、検温、ソーシャルディスタンスを保って活動を継続しています。今年度は、布マスクが好評です。また、ガーゼ帽子や手さしは、リピーターが多く、根強い人気です。手編みの帽子は、五百円の安さと軟らかい手触りでお買い得です。最近では、ネクタイをリメイクして、てさげ袋を製作しています。きっかけは当センターの活動を応援してくださる方が、お友達に声を掛けてくれ、たくさんネクタイをいただいたことでした。販売できる福祉まつり等の行事が中止となり、市民の皆さんにご紹介できる機会が少ないのが残念です。事務局窓口で販売していますので、友達とお立ち寄りください。また着物や帯、生地等の材料をご寄付いただき、ありがとうございます。

興味のある方、一緒に参加しませんか？

活動は、主に月に二回、山武福祉センターで、リーダーの渡邊しげさんを中心として、九時半から十一時半までです。予定表は、四月の事務局だよりに掲載していますが、不明な点は事務局の高林までご連絡下さい。メンバー一同お待ちしております。



入会者紹介

よろしくお願ひします

- (令和二年七月)
- 杉田 愛子 (成東)
- 鈴木 愛子 (成東)
- 筒井 幸子 (山武)
- (令和二年八月)
- 小寺 康弘 (松尾)
- (令和二年九月)
- 中野 久美子 (成東)
- 田中 勝夫 (山武)
- 高野 直之 (山武)
- 金井 力男 (山武)
- 伊藤 静 (松尾)
- (令和二年十月)
- 五木田 照一 (成東)
- 今吉 徹 (成東)
- 福田 恵美子 (成東)
- 高柳 和代 (山武)
- 中村 弘美 (松尾)
- 浅野 良二 (蓮沼)
- 浅野 りつ子 (蓮沼)
- (令和二年十一月)
- 布施 博 (成東)
- 下田 力 (山武)
- 今井 美津子 (蓮沼)
- (令和二年十二月)
- 杉本 好治 (成東)
- 豊留 章二 (山武)
- 土屋 知子 (山武)
- 鈴木 秀男 (松尾)
- 秋葉 哲夫 (蓮沼)
- 森口 礼子 (蓮沼)
- (敬称略)

会員ひろば

私の趣味紹介 『布マスク作り』

広報担当の高林です。今回は、会員ひろばにお邪魔します。

私の趣味は、布マスク作りです。新型コロナウィルスの影響でお店からマスクが消えてしまった時期に、すみれサークルで、さらしの布マスクを作り始めたのがきっかけです。ちょうど、息子が就職で一人暮らしを始めたので子ども部屋を作業場に変えて、シンやアイロン、布を広げる作業台を設置して出来上がり。作り方はユーチューブで検索し花柄などの可愛い布やマスクの割目用のアイロン台をネットで探して（便利な世の中で）購入して、朝の出勤前や夜の寝る前に時間を見つけては布をローリーカッターで切つて、ミシンを踏んでいました。色とりどりの生地を見ていると癒やされ、時間を忘れて無心になれるので、ストレス解消なのか、一日ミシンを触らないとそわそわして；どっぷりはまってしまいました。

職員 高林千代美



最近では不織布マスクも買えるようになりましたが、しばらくはマスク生活が続きます。自分のマスク作りもまだまだ続きそうです。自分に合ったマスクでコロナ禍を少しでも気分良く過ごすて行きたいと思えます。



『野菜作り』

私の趣味は、実益を兼ねた家庭菜園での野菜作りです。

およそ三十五年位前、植木畑の片隅に五月の連休を利用して初めて茄子とピーマンを植えたことでした。結果は、無知により風対策をしなかった為強風にあおられ枯れてしまいました。すぐに植え直し、今度はビニールをかけて、何とかその年の夏には収穫することが出来、家族から喜んでもらうことが出来ました。それ以来、農業雑誌からの知識吸収や近所の農家の方の指導を受けながら、主として夏野菜（茄子・キュウリ・トマト等）、冬野菜（長葱・白菜・大根等）作りをしております。収穫時の喜びを糧とし、これからも体が続く限り野菜作りを続けてゆきたいと思えます。

広報委員 今井富士男



シルバートのホームページは随時更新されています。ぜひご覧下さい。アドレスは表紙に記載のQRコードをスマホで読み取れます。

このページは会員ひろばです。こんな趣味があるとか、俳句、短歌、川柳など投稿して自己を発信しませんか。そのことが生きがいとなり長生きに結びつきますよ。

※詰将棋でボケ防止の頭の体操

・藤井聡太二冠が、8秒で回答できた問題。

ヒント
・九手詰



・谷川九段作成の芸術的に美しい詰まり。

ヒント
・二五手詰



文芸

俳句

滝の系龍の涙か秋深し

関口 宙海

小窓さえ飾り頼とは白き富士

白き十三夜バックミラーに夕日

戸村 茂昭

桜にも勝る小春のみみじかな

黄葉して祖先懐かし大銀杏



新会員募集!

「広報さんむ」の配布員を募集します
行政の情報を市民の方へ
お届けする大切なお仕事です

山武市シルバー人材センターは、四月から「広報さんむ」の全戸配布を開始します。新たな業務につき、配布作業を行ってもらえる新会員を募集します。
配布する広報紙は自宅へ届けますので、バイクや自転車、徒歩で配布も可能です。自分の体力作りのため、ご家族やお友達と一緒に、少しの時間なら：きっかけはさまざまです。行政の大事な情報を皆さんにお届けしませんか。
ご協力お願いします。

- 配布内容は
○ 配布期間：毎月1〜3日まで
(1回当たり。おおむね3〜4時間)
- 入会資格：市内在住で60歳以上の方

○ 臨時入会説明会(予約制)
お仲間をお誘い下さい。

- 日時 一月二十五日(月)
- 一回目 午前10時
- 二回目 午後2時
- 場所 松尾T保健福祉センター
- 申込 シルバー人材センター
- 問合せ 0479(86)6616



各委員会 活動中!

前号ではお名前のみの紹介でしたので、改めて写真で紹介いたします。



新規事業開拓委員会



女性部会



安全委員会



旅行クラブ

● 広報編集委員会



委員長 戸村 茂昭
副委員長 高橋 昭一
委員 川島 房枝
関口 憲一
渡邊 いずみ
小島 邦男
塚野 博昌
今井富士男

編集後記

会員の皆様、新年あけましておめでとう
ございます。

昨年は、新型コロナウイルスに惑わされた一年でした。秋の台風には、幸いにして襲われませんでした。今年も異常気象が続く事を前提に行動しなければならぬと感じます。

シルバーの活動も思う存分活動できず、歯痒い思いをされている皆様もいらっしゃると思います。それも新型コロナウイルスの消滅次第ですね。一刻も早いワクチンの完成が待たれますね。

この様な中、シルバー人材センターの理念である「共助」のレベルアップを目指し、皆様お持ちのスマートフォン、パソコンを活用し、会員同士のコミュニケーションの向上、シルバー人材センターからの情報提供、収集を活性化し、コロナ禍でも活気あるものにしていきたいと考えます。

寒さもこれからが本番、体調管理を万全にし、新型コロナウイルスに負けない体力を付けましょう。

※会員親睦旅行を企画しています。
ボランティアで協力頂いています。

事務局

- 山本 栄
- 須江 康夫
- 塩崎 照夫
- 川島 勅男
- 石田 幸雄
- 今井富士男
- 丘野 清則
- 高林千代美

● 旅行クラブ
リーダー

広報委員 高橋 昭一